

令和3年度 恵庭市水と緑のまちづくり審議会 議事録（書面開催）

【開催日時】

令和4年2月10日（木）※意見書集約日

【出席委員】（書面表決書提出者）（13名）

綾部 勉、岡本 浩一、北林 優、黒崎 暁子、齊藤 浩二、下原 干城、
白崎 亜紀子、杉町 博孝、中島 守、沼倉 健一、山口 裕美、山口 昌志、
吉田 愛子（五十音順、敬称略）

【議事】 1は諮問事項、2、3、4については報告事項

1. 恵庭市水と緑のまちづくり表彰者について（諮問）（非公開）

※賛成13名、反対0名⇒賛成者数が出席者の過半数以上のため、承認

2. 全国都市緑化北海道フェア（案）概要について（報告事項）

B 委員

国道36号を挟み向かい側の駐車場とメイン会場との間には、臨時の横断歩道など用意されるのでしょうか。

企画や催事の内容によっては、一度に多くの車両と来場者とが交錯することもありそうだと考えると、国道であることとあいまって、安全な歩行、横断、行き来しやすい動線の兼ね合いが気になります。

回答

仮設駐車場である中島公園とメイン会場（はなふる）との歩行者につきましては、漁川沿いの国道下の横断函渠（コンクリートボックス）を歩いていただくことを計画しております。

ご意見のとおり、国道交差点を来場者が横断することで、歩行者の安全性や国道の車両渋滞などの問題が発生する可能性がありますので、中島公園に駐車された来場者に対しましては、看板や警備員により、横断函渠に誘導し安全性の確保に努めていきたいと考えています。

E 委員

・このフェアを盛り上げていくには、札幌市・北広島市・千歳市・長沼町などの近隣市町の協力・連携が不可欠なので強く働きかけを行うべき。

・コロナ禍は開催時期迄に収束するとは考えにくい。

通常の感染対策の他に、花や樹木を活用して、何らかの対策が立てられないか、検討してはどうか。

回答

近隣市町村との連携につきましては、都市緑化フェア基本構想時より連絡会議を設けて意見交換を行ってきたところであり、実行委員会にも参与として参加いただいております。

現時点の連携としましては、フェア開催時において会場内テントブースにおける市町村出展の他、コンテナ（鉢植え）による出展など参加していただく予定です。また、同様に道内市町村についてもブース出展の協力をいただいているところです。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは不明確な状況ではありますが、花や緑が安らぎを与えてくれる役割を持つことを知っていただく機会として、会場での基本的な感染症対策を徹底し、他の手法も考慮しつつ安全なフェア開催を目指して参ります。

M 委員

南島松駐車場から会場まで、土・日だけでもシャトルバスを運行する事は無理でしょうか？ワンコイン（100円？500円？）の有料でも良いと思います。

回答

南島松仮設駐車場から会場までは約 700～800m の距離があり、河川の管理用通路を歩いていただき来場していただくことを計画しております。距離があり遠いとの意見もありますが、現在、花壇の整備やベンチの設置の他、歩行者が楽しみ来場できるような仕掛けづくりを検討しておりますのでご理解をお願いします。

3. 公共施設花づくり指針（案）について（報告事項）

D 委員

現状をしっかり把握することは良いことだと思います。

量より質になる時には、「植物」を知るという基本的なことに目を向けなおし、デザイン性だけでなく、環境、生育などに合わせた花の選別を行い、知識のある方から、指導を受け、それを伝える、教えるという事を行えば、必ず良くなると思います。

回答⇒今後の参考といたします。

E 委員

- ・ガーデンフェスタ以降を見据えて、公共施設の花づくりに取組むことを評価したい。
- ・メリハリをつけることは必要だと思うが、「通常施設」に関しても毎年状況確認し、必要なら見直しも行うことを強調すべきである。

回答⇒花づくり基本指針_整備・運営実施計画にて状況を確認し検討いたします。

G 委員

花と緑がいっぱいのまちは、確かに日々の暮らしに潤いを与えてくれますが、その空間を味わうためのベンチが、現在市内になかなか少ないです。「花壇とベンチ」がセットという考えも必要だと思います。

いたる所にベンチを設置し、花や緑の中でのパブリックスペースとして雑談や交流の場が広がり豊かなまちづくりにつながっていけると良いと思います。

回答⇒今後の参考といたします。

H 委員

人、モノ、金が揃わない限りにおいて

「やってくれ」と言ってもできるものではありません。

少なくとも行政と施設管理者はパートナーであるべきです。

全庁的な人的協力と長期的な助成支援があって専門家などと花づくりができるようになるのです。

花のまちだからこそ特段の暖かい関わりと理解をいただきますようお願いします。

回答⇒今後の参考といたします。

4. 緑の基本計画（案）について（報告事項）

A 委員

「緑の募金」の取組を推進していただく記載はありがたいのですが、全国的にも募金種類別では「家庭募金」が募金による寄付額の50%を占めており、私どもとしても、道内の「家庭募金」に取り組む自治体を増やしたいと考えていることから、恵庭市においても、ぜひこの「家庭募金」に取り組んでいただくため、記載をお願いします。

回答⇒追記いたします。

B 委員

- ・ P32：計画図の“骨格”と“ネットワーク”との判別がつかないので表現を改善されたい。
- ・ P42～51：「まもろう、ふやそう、そだてよう」≒「保全、整備、仕組み」と読みました。できれば、やはりそだてようのところに“質”の視点が含まれてあってほしいと感じます。
まもろう、ふやそう 内に質に近い文言もありますが、そだてよう に立ち上がって含まれたいところです。
- ・ P51②：～をふやす、は、質（≒恵庭らしさ）と見立てる方がしっくりきそうです。

（上記対応提案）

回答⇒計画図の調整いたします。P51②に「質」について追記いたします。

C 委員

市民にわかりやすく計画内容を発信続けて欲しいです。

回答⇒今後も市民の皆様によりわかりやすい情報発信に努めます。

D 委員

緑の基本計画に都市緑化だけでなく SDG s の面から恵庭市さんにおける森林整備の点も記載してはどうでしょうか。

森林環境譲与税も今年から使用等に関して開示していかなければなりませんので、全体の「緑」と考えるのであれば、方針として載せれば、市民の方もわかりやすいのではないかと思います。

回答⇒森林環境贈与税を活用した事業については検討していきます。

E 委員

私は以前から緑の基本計画＝公園・緑地マスタープランに止まっていることに違和感があったので、本計画案「第2章 3.緑の課題」の記述には共感する。第3章以降の計画のフレームや計画の目標設定に盛り込むのは無理だと思うが、基本方針では課題であげた点を反映していくべきだと考える。

回答⇒第2章3緑の課題については、第5章に分類し記載しております。

H 委員

P52に記載がありますが、マンパワーと後継者づくり、理解ある企業・団体の協力が急務です。

花のまち恵庭を維持発展させていくには、人づくりの機会が必要です。

ぜひみんなで知恵を結集し、この課題に取り組みましょう。

これからの時代に対応する新しい花のまちづくりを考えるチャンスです。

I 委員

恵庭市内、用水路上の緑（暗渠）（表現が難しいですが…）（恵明中近くのイチョウ等）（住吉町の所や相生町、緑町）も、貴重かつ今後も守り育む緑だと個人的に思っています。

どこかに明記されているかもしれませんが、ふと思いました。

P30 (3)「回廊地区緑地」には入らないですかね。途切れている所もちろんありますが、spot的には、育てる価値のある場所だと思います。

回答⇒緑のネットワークに分類されており、今後も保全されるべき緑地となっています。